

12/3~9

### 障害者週間

つながる  
広がる  
ともにプロジェクト



▲公式ロゴマーク

新潟市では、障がいを理由とした差別を解消し、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指して「障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を定めています。

同条例の下「ともにプロジェクト」を立ち上げ、障がい者アートの展示、ロゴマークを活用した啓発グッズの販売、「ともに Entrance」の活動などを行っています。

☎障がい福祉課 (☎ 025-226-1237、FAX 025-223-1500)

アート展示場所 ①新潟駅アートシール(新潟駅構内東西連絡通路、新潟駅南口バスターミナル) ②3月31日(水)まで ※西側連絡通路階段に同プロジェクトのロゴマークを装飾展示(今月上旬) ②原信ミュージアム(原信河渡・錦町・南万代・黒埼店のほか市外5店舗) ③こども創造センター ④MOSごと美術館(今年はオンラインで展示) ⑤12月31日(木)まで ⑤新潟交通ラッピングバス 啓発グッズ販売店 ⑥まちなかほっとショップ(NEXT21・3階) ※新潟市内の障がい福祉施設で製作されたお菓子や雑貨なども販売 作品紹介 ⑦「Best Friend」村山真紀さん=下インタビュー記事= グッズ紹介(⑥で購入可) ⑧「ともにクッキー」ワークセンターふじみ(東区藤見町1)で製作、受注販売 ⑨「新型コロナウイルス感染拡大防止啓発缶バッジ」就労継続支援B型事業所さんろーど(中央区沼垂西1)で製作、販売 ※ともにEntrance加入企業主体の取り組みも含む。写真は過去の様子を含む

#### 目次 CONTENTS

| 特集 |

- 1 ともにプロジェクト
- 2 イルミネーション  
入浴中の事故・餅での窒息に注意
- 3 にいがたCITY NOW
  - 年末年始の業務
  - 快適な冬の暮らしを
- 4 新潟県新型コロナ受診・相談センターを設置
  - ジャズコンサートを開催
  - 宿泊割引キャンペーン
  - 都心エリアの呼称が決定
  - 1/10 成人式
  - 市政世論調査まとまる
- 5 連載 新潟の地産品・歴史探訪  
おでかけナビ  
他3ページは区役所だより「情報ひろば」は別冊で発行しています

#### インタビュー アートに込めた願い



作家  
就労継続支援B型事業所さんろーどに通所  
**村山 真紀さん**

多くの人が行き来する新潟駅に自分の絵が飾られることはとてもうれしいですし、自信になります。「見た人が温かい気持ちになってくれるように」という願いを込めてアートを制作しています。細かく色分けをすることで特に力を入れました。これからも事業所の仲間と一緒にアート制作に取り組んでいきたいです。

#### インタビュー 作品を忠実に再現



有限会社トーゴスタジオ(東区東明7。新潟駅アートシールの設営業者) 代表取締役  
**菅原 正憲さん**

共生社会の実現に向けた取り組みに共感し「ともに Entrance」に加入しました。当社は多くの障がい者アートの拡大印刷、展示設営をしています。作家さんがこだわりを持って描いた作品を忠実にアートシールに再現したので、作品の細かな部分まで見てほしいです。作品を通じて共生社会への理解につながるといいですね。

🖍️ **ともにプロジェクトとは** 障がいのある人とない人の相互理解を深め、障がいの有無にかかわらず誰もがその人らしく活躍できる、共生のまちづくりを目指す取り組み

**ともに Entrance とは** 共生のまちづくりに関心のある企業や組織のつながりを構築・活用するためのネットワーク。障がいや福祉への理解を深めるために情報共有や学びの場の提供などを行っている



▲詳しくはこちら



みなとまち  
みらいまち  
新潟市



市の各種手続き、  
催し案内などは  
土・日曜、祝日も  
新潟市役所コールセンター

年中無休8:00~21:00 ※12/29~1/3は17:00まで  
にいがたし みんなの しや く しょ  
**こたえてコール 025-243-4894**  
FAX 025-244-4894 Eメール 4894call@call.city.niigata.jp

新潟市の人口・世帯数 (10月末住民基本台帳人口。かつこ内は前月との比較)  
人口/785,388人(-367) 男 378,257人(-192) 女 407,131人(-175) 世帯数/343,518(+20)

**新潟県新型コロナ受診・相談センター**

☎025-256-8275 (24時間対応。土・日曜、祝日も受け付け)